

(放送部 報告)

放送部が第39回全国高等学校総合文化祭2015滋賀びわこ総文に、朗読部門、オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門の大阪代表として、参加しました。

滋賀県栗東市で7月31日から8月1日まで行われた、第39回全国高等学校総合文化祭2015滋賀びわこ総文に、放送部が大阪府代表として参加しました。



会場の栗東芸術文化会館さくらです。



今回のマスコットの「湖楠（うみな）ちゃん」です。
いろいろな、うみなちゃんグッズがありました。
京阪電車大津線の車両にもつけられていました。



31日はオーディオピクチャーと朗読の発表です。

オーディオピクチャーはラジオ番組に、静止画をつけた番組です。各都道府県から1作品の参加です。



わたしたち、大阪天神橋にあるお店を取材しました。
このお店は、いろいろな事情で飼い主が手放して、殺処分となる前の犬やネコを引き取り、新しい里親（飼い主）を探す活動をしています。
画像中の犬やネコたちの怯えた眼が印象的でした。



朗読の発表です。各都道府県から3名の参加です。NHK杯の放送コンテストと異なり、発表の様子がスクリーンに映し出されます。BGMや静止画も使えます。

郷土に関係する作者や作品を朗読します。本校の近くに生家があった織田作之助の「子守唄」を朗読しました。発表後、インタビューがありました。

1日はビデオメッセージ部門の発表がありました。



ビデオメッセージ部門は各都道府県から2校の参加です。

わたしたちは、大東市の義肢を制作している会社取材させていただきました。

社長さん、従業員の方、実際にこの会社が作られた装置をつけた経験のある方からお話を伺いました。

残念ながら、各部門とも入賞はしませんでした。しかし、大阪府の代表校だけでなく、全国の参加者の皆さんと作品交換など交流ができました。また、滋賀県の実行委員の皆さんとも仲良くなりました。

最後になりましたが、今回取材させていただきました、「Hogoken Cafe 天神橋店」のみなさま、川村義肢株式会社のみなさまをはじめ、お話をいただいたみなさまにお礼を申し上げます。